



# 不動学友会だより

発行所  
 埼玉県立不動岡高等学校  
 学友会  
 加須市不動岡1-7-45  
 電話 0480 (61) 0140

## 「記念式典」 成功にむけて

「学校は生き物だ」とつくづく感じます。でも考えてみれば当たり前のこと。そこは生身の生徒たちが確かに生きている場所だからです。生きる者はそこに自分(達)が生きた証を残していきます。そして先人が残した良き証を引き継いでいきます。その積み重ねが「伝統」と呼ばれるものなのだと思えます。こうして「不動岡高校」という生き物は来年(平成十八年)に満百二十歳を迎えることになりました。それも全く新しい姿になって。そこで、その節目としての儀式を盛大に行い、また新たな歩みを踏み出すために「記念式典」を企画いたしました。

式典の名称は「新校舎落成並びに創立百二十年記念式典」として、新校舎の落成をメインとし、創立百二十年という節目の年に、その歴史に多くは訪れることのない新しい校舎の完成を迎えるからです。その準備のために昨年(平成十六年)の十月八日に、立岡勝之(学友会長)様を会長とした「記念事業協賛会」を立ち上

げました。また校内に実務を担う「記念事業実施委員会」を全職員で組織して具体的な準備を進めているところ。そして今年七月十一日に第二回の協賛会を開催して記念事業の概要が確認されました。そこでこの場をお借りしましてその内容を広く学友の皆様にお知らせして、ご理解とご協力をお願いしたいと思います。

まず、式典は平成十八年の十一月十一日(土)の開校記念日に本校の大体育館で行うことにしました。その後小体育館を会場にして記念祝賀会を開催します。また、記念事業としては次のような企画を行うことにしました。

- 一、創立百二十年記念誌の発行と新校舎落成記念リーフレットの作成
- 二、本校所蔵の芸術作品カタログ集の制作発行
- 三、テレビ埼玉による本校紹介番組の制作・放映(式典後の来年十二月頃を予定)とその録画DVDの制作
- 四、記念講演会の実施
- 五、新校舎落成記念碑の製作
- 六、施設整備の充実

です。ここで今回の事業のメインとなるものについて簡単に紹介いたします。

まず、「芸術作品カタログ集」です。本校には先輩達が残した本当に多くの絵画や書などの作品があります。これを機にそれらの作品を写真カタログ集として一冊に整理して広く紹介するとともに貴重な財産として記録に残しておくというものです。次にテレビ放映です。埼玉県で一番の伝統を誇る本校を広く県民に知ってもらおうとともに、新しい姿となって未来に歩みだす姿をアピールしたいという想いが込められています。そこで内容も単に歴史を懐古するだけではなく、今の生き生きとした生徒達の姿を重ね合わせて伝統と未来を表現するものにしたいと思います。すでに学校祭などの様子は収録されています。最後に施設整備の充実ですが、ご承知の通り、今年の七月より全教室に冷房が完備され生徒は快適な環境で学習しています。現在は受益者負担等の事情がありレンタルで対応していますが、やがては本校の設備にするつもりです。そのため運営資金が必要になります。また既存施設(食堂と体育館等)をリニューアルして新校舎とのバランスを考えています。さて、この事業を成功させるための資金は広く募金に頼らざるを得ません。想定される予算額はおよそ五千万円になります。今後趣意書と募金をお願いを差し上げることになりますが、その節には趣旨をご理解の上ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【記念事業実施委員会委員長  
 長島 巖(八十二回卒)】



一流の生き方  
会長 立岡勝之

昨秋、世界中の野球ファンの視線を独占したイチローが、シスラーの通算安打記録を破ったときに、「いま小さなことを多く重ねることが、とんでもないところに行きただ一つの道なんだなというふうに感じています」という言葉を述べている。今の自分と夢をつなぐ唯一の架け橋は、目前の一見つまらないように思える小さな仕事を根気よく積み重ねることだ。それが閉塞感漂う現代を生き抜く術であるとも読める。

また、科学の世界には「セレンディビティー」という言葉がある。実例として有名な歴史的出来事は、ニュートンが太陽系の運動について、ひたすら研究しているときに、リングが落ちるのを見て「万有引力の法則」を思いついたことがある。この言葉は、ある目的を達成するために、日々地道な研究に取り組む科学者が、本来の目的とは異なるものながら偶然の大発見をするという意味である。元来、この言葉は寓話「セレンディップの三人の王子の物語」から生まれた

言葉であるが、この寓話は、国を救うために苦難と闘う王子たちが、その目指すものとはことなるものながら、国を思う心と勇気と努力とによって国難を救うという話である。これもまた、現代を生き抜く知恵のひとつではある。

イチローは目的達成のために努力を惜しまず、その目的を成し遂げた。「セレンディビティー」とは、目的外ながら、日々の努力が違ったかたちで報われるものである。しかし、両者に共通することは、「たゆまぬ努力」「旺盛な好奇心」「深い認知力」「経験に裏付けられた洞察力」である。

成果や出口が見えないからというだけであきらめずに、取得に時間のかかることを楽しめたり、今の自分の生き方や取り組みを楽しめたりできるようなになったら、一人前で、一流への足がかりをつかんだとでもいえるだろうか。別に、世界記録を作ったり、世界的な発見をしたりすることが一流というわけではない。平凡ではあるが、一流の学生、一流の職業人、一流の生活人でありたいと思う。

私たちは、不動岡高校に学び、先人の築いた伝統から、無二の経験知を得ている。これを「イチロー的な生き方」として活かすか、「セレンディビティー的な生き方」となるかは、人それぞれだが、自分自身で納得できる一流の生き方をするために、日々研鑽を積み、精進するべきであると思う。



不動百二十年  
更なる飛躍を目指して  
校長 長澤智則

朝夕はさすがにしのぎやすくなつてまいりました。学友会の皆様には、物心両面にわたる暖かいご支援をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

外国語棟の東角にある「楷の木」は大きく成長し、不動岡生の勉学する姿をいつも見守っています。この「楷の木」は、元埼玉県知事で学友会会長であった畑和さんが、中国山東省曲阜の孔子廟に植えられていた「楷の木」の苗木を中国から贈られ、平成七年七月に本校に植樹したもので、「学問の木」とも呼ばれています。植樹した頃は、鉛筆ぐらいの細い幹でしたが、「学問の木」は年々たくましく成長しました。春から夏にかけて青々と繁っていた葉は、秋になると美しく紅葉します。創立二〇年を迎え、この「学問の木」を「不動岡の木」として大切に育てていきたいと考えております。

さて、県教育委員会は今年度より「学校自己評価システム」を導入いたしました。この「システム」

により、不動岡高校は生徒、保護者や地域住民等からの意見や評価を踏まえ、教育活動その他の学校運営の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表して学校の説明責任を果たすとともに、学校の教育力の向上を図ってまいります。また、本年度の学校自己評価の評価項目を「授業改善の取組」「家庭学習の習慣化と補習授業の充実」「開かれた学校作りの推進」「不動岡高校生としての誇りの育成」の四項目に設定いたしました。今後は具体的な方策、評価指標等を明確にして、教育活動を行ってまいります。

現在、旧校舎の解体が始まっています。八月初旬に一号館正面の校章を取り外しましたが、壁の中に石版が埋め込まれていました。その石版には「昭和四十二年三月、第七十九回卒業生一同」の文字が刻み込まれていました。昭和四十二年十一月に創立八十周年記念式典を挙げておりますので、この校章は、その式典を前に贈られたものであると思われまます。歴史を刻むこの校章を旧校舎の壁面の一部と共に、「新校舎落成並びに創立百二十周年記念碑」として保存することといたしました。

学友の皆様におかれましては、本校が更なる飛躍をするため、一層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

職名	氏名	転出先
教頭	柳原 功	蓮田立平野中学校
主任	田代 収	退職
教諭	萩原 恵子	鴻巣女子高校
	桑島 悟	鷲宮学校
	木村 一也	栗橋高校
	加藤 友信	春日部高校
	松本 明教	上尾東高校
	野口 真澄	白岡高校
	田中 昭男	寄居高校
	飯塚 一也	羽生高校
	小栗 郁子	羽生実業高校
	江崎 裕子	春日部女子高校
	浅沼 奈美	久喜高校
	松本 直樹	浦和第一女子高校
	森田 純子	駒西高校
	本多 隆弘	不動岡誠和高校
	鈴木 利夫	越谷高校
	浅野 猛	保健体育
	長竹 節子	退職
	新井 信行	幸手商業高校
主事	田村 早苗	羽生高校

職名	氏名	転入
教頭	若林 正人	白岡立津中学校
	黒田 幸治	栗橋高校
	山口 友司	大宮中央高校
	森川 典明	行田工業高校
	白石 正夫	岩槻高校
	武田 敬子	杉戸農業高校
	後藤 範子	高浦高校
	葉山 伸江	高浦高校
	倉科 淳	桶川高校
	宮崎 孝宏	上尾高校
	小松 元美	幸手高校
	戸田 真栄	庄和高校
	田中 寿栄	大宮中央高校
	正田 佐智子	北川辺高校
主事	戸頃 良子	

人事異動

### 県立不動岡中学校

#### 「第五十七回卒

#### 「互支知会」同窓会

#### 「第十四回互支知会」



去る平成十六年九月十二日、母校学食にて開催。恩師前田先生を迎えて、四十四名の会員が、テーブルを囲んで和やかに心地よい時を過ごしました。我々昭和十六年四月に入学、その年の十二月八日に大東亜戦争が勃発し、戦時一色の中学校時代を過ごしました。そして戦争も末期症状が現われだし、昭和十九年七月は学業を捨て、軍需工場の富士電機と英工舎に学徒動員され、油にまみれて働き、二十年三月、五年生と我々四年生は、同日、同講堂で、長い不動岡中の歴史にも見るこのない変則的な卒業式を行いました。卒業後は社会人として、又学生として終戦後の物質的な困窮と思想的な混乱のさなかに果立って行きました。その後二十年近く散り散りになり、近い者、親しい者だけの交流ばかりで、全体的な集まりもなく「や

つは「彼は」何処で何しているかと噂するばかりでしたが、東京オリンピックの年に、第一回同窓会を開催しました。「出席者八十八名」そして第二、第三回と回を重ね、その後、四年に一回では長すぎると、多くの会員からの希望で、二年に一回の開催に決まり、今回で十四回になります。第一回の同窓会の席上、五十七回をもちり、「互支知会」互いに知り合い、い

### 平成17年度 学友会慶祝者一覽

(敬称略)

64	62	53	62	79	85	84	85	83	78	79	71	95	60	55	83	45	64	103	67
旧職員	旧職員	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章
山中茂樹	荻野清	今成力	遠藤淳二	長谷川弘	長谷川次郎	小林功幸	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章
瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章
瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章	瑞宝小紋章

### 現在の不動岡高校

#### 姉妹校相互訪問で国際交流深める

去る六月十七日から二十九日までの2週間の日程でオーストラリアクイーンズランド州のキングロイ高校から二十三名の生徒を本校に迎え、交流プログラムやホームステイを通じて友情を深めることができました。

一方、七月二十九日から八月十日までの二週間の日程で本校から二十八名の生徒がキングロイ高校を訪れ、有意義な国際交流を互いに深めることができました。



一日までの二週間の日程で本校から二十八名の生徒がキングロイ高校を訪れ、有意義な国際交流を互いに深めることができました。

#### 主な部活動成績(四月〜八月)

##### ○書道部・新聞部

両部は七月末に青森で開催された全国総合文化祭に県代表として出場しました。

##### ○陸上部

三年生の益子倫行君がハンマー投げで関東大会で五位の成績を収め、八月、千葉県で開催された全国高校総合体育大会に出場しました。



た。また、二年生の宮内彩香さんが棒高跳びで、富山県で開催された全国ジュニア陸上競技選手権大会に出場しました。さらに、岡山国体にも出場します。

##### ○剣道部

女子剣道部は団体戦女子の部で県大会で優勝、関東大会では第三位の快挙を達成しました。個人では、三年生の濱本佳菜子さんが県・関東大会で優勝し、全国総合体育大会に出場しました。国体出場も決まっています。

##### ○登山部

一年生の門間希美さんが山岳クライミングの部で岡山国体に関東代表として出場が決まっています。その他、ラグビー部と卓球部が東部地区大会で第二位に入賞する等多くの部が各種大会で活躍してくれました。

○全国高校生ドイツ語スピーチコンテスト

対話部門で三年生の武井奈津美さんと中村佳那さんが優勝し、副賞でドイツ旅行に出かけます。教頭 若林正人

